

補正予算審査



官民における情報共有のあり方を問う
杉尾直樹

地域の自治活動を推進する上で、自治会や町内会が担う役割は非常に広範囲にわたり、また重要にもなってきた。しかし「個人情報保護」の関係もあり、住民保護や見守り活動をする上での情報収集には不自由が多く、その結果本来助かるべき命が失われるなど、生活をする上での不安が増している現状が、全国的にも報告されている。そこで今回、東京都足立区が行っている「孤独ゼロプロジェクト」を例に挙げ、今後の対応の検討を提案した。

二瓶秀幸

参議院議員選挙費の減額は、投票所や事務処理自体の削減ではないのか
④ 国会議員選挙の執行経費基準の法律改正に伴い、選挙執行の人員費を含む各経費全般にわたって基準額が引き下げられた。また投票所の削減等の措置は行っており、従前どおりの対応である。

木村俊子

「風しん予防接種」公費助成を早期に実施することを評価した上で、風しんは20代から40代までの男性の15%、女性の4%が抗体を持っておらず、女性の11%が感染予防には不十分な抗体価であり、ひまわり感染することから、周知についてより一層こまやかな配慮を求めました。

市税条例の一部改正について審議！

平成25年第1回臨時会

平成25年第1回登別市議会臨時会が4月17日に開催されました。

主な議案は

- ① 議会運営委員会委員の選任について
 - ② 登別市税条例の一部改正について
 - ③ 固定資産評価委員の選任について
- すべて全会一致で原案どおり可決しました。



▲片田敏孝氏による講演の様子

登別市議会議員研修会

「釜石の奇跡に学ぶ」

4月12日午後1時30分から市民会館大ホールにおいて、**想定を超える災害にどう備えるか**、**釜石市津波防災教育に学ぶこれからの地域防災**と題し、講師に「釜石の奇跡」の立役者である群馬大学理工学研究院教授の片田敏孝氏を招き、議員研修会を開催しました。

この研修会は講師の片田教授のスケジュール調整により、約1年待ち開催の運びとなりました。

「3・11東日本大震災」以降、当市においても津波防災の重要性が市民の皆さまの関心事項となっていることから、市民の皆さまにも広く参加いただけるよう企画をし、開催当日は約60名の参加をいただき好評のうちに終えることができました。講演の中で片田教授は、想定外を生き抜く力を「**はぐくむ姿勢の防災教育として「想定にとらわれない」「最善を尽くせ」「率先避難者たれ」との三原則に触れ、子供たちの防災教育は、災害文化再生プロジェクトとして、高い防災意識が世代間で継承されていくことがその地域に災害文化として根付く、また「津波警報が出て逃げない大人の背中を見て子どもは育つ」との話があり、大人の責任は重大であると考えさせられた研修会となりました。**

『登別市中小企業地域経済振興基本条例』 を制定しました!!

登別市中小企業地域経済振興基本条例については、地域経済の疲弊が進んでいる状況を踏まえ、観光・経済委員会が委員会活動方針の一つである「地域経済活性化への取り組み」として、登別商工会議所および北海道中小企業家同友会西胆振支部とともに「地域経済振興に向けた条例研究会」を立ち上げ、登別の特性を踏まえた条例づくりに取り組み、市民・事業者への説明会を経て策定しました。



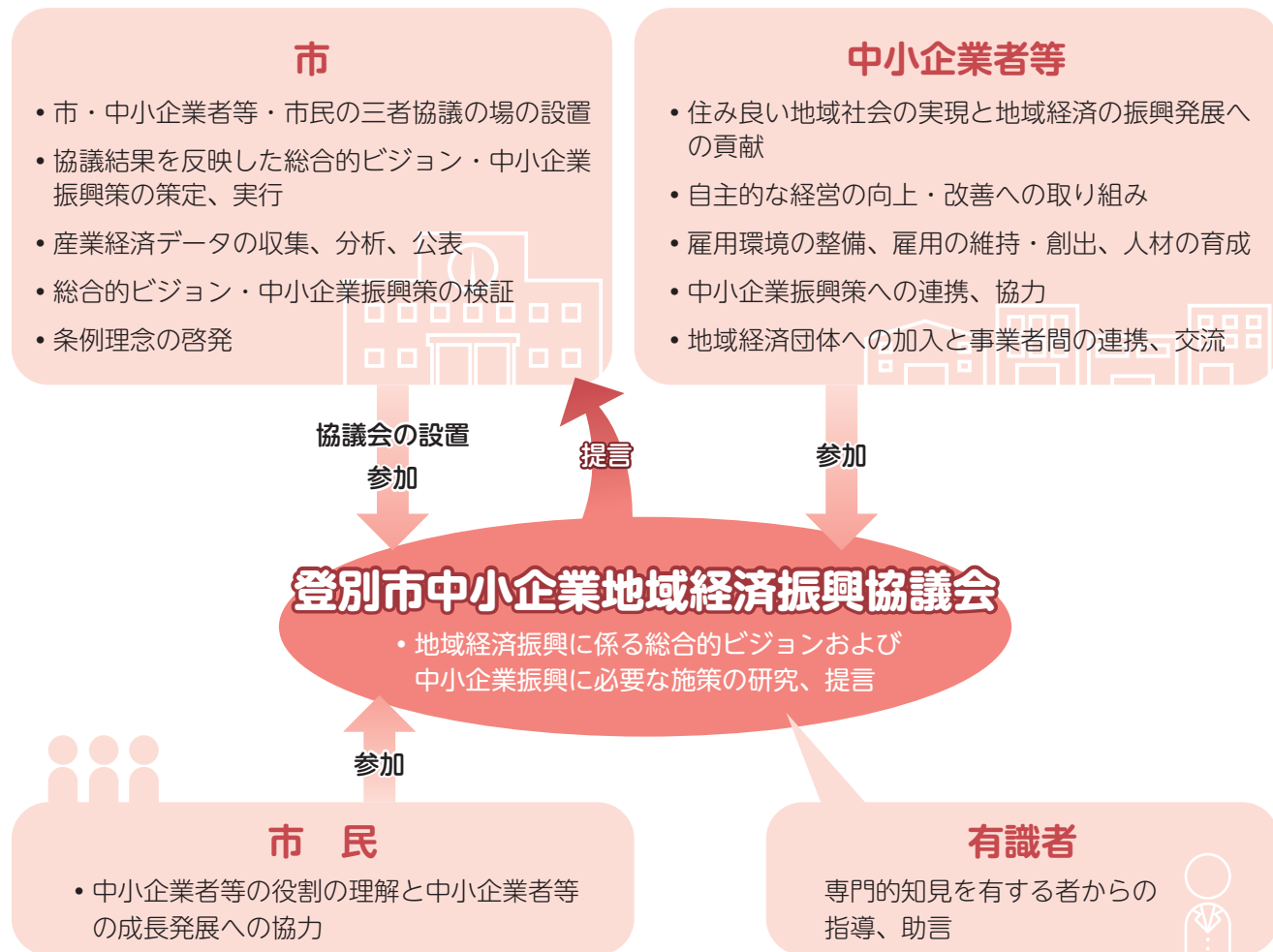
▲市民・事業者への条例説明会

この条例は第2回定例会に議員提案し議決され、7月4日に施行されました。

この条例は、市、中小企業者等および市民が、対等な立場で連携し、それぞれ適切に役割分担をする協働によって、地域経済および中小企業の振興の推進に努めることを基本理念としており、市、中小企業者等および市民の三者それぞれの役割等を定めるとともに、三者が地域経済振興に係る総合的ビジョンや中小企業振興に必要な施策について協議する場として、登別市中小企業地域経済振興協議会の設置などを定めています。

市、中小企業者等および市民による地域経済および中小企業の振興に向けた取り組みは、三者協働でまちの活性化を目指す新たな取り組みであり、三者それぞれがこの条例に基づき、地域社会の一員として地域経済の活性化への関わりを深めていくことが求められています。

市・中小企業者等・市民および協議会の役割等（イメージ）



*この条例の詳しい内容は、市議会ホームページでご覧いただけます。



委員会だより



総務・教育委員会

後期の改選期にあたり委員が新しくなりました。年間活動計画も前期委員会の提言を踏まえ、定住自立圏について、行財政改革を軸にし、ほかの課題についても継続して取り組むことを確認しました。

また、先進地視察の実施、課題と捉えた事案に関して適宜勉強会を開催するほか、委員会に関わる市民団体との意見交換を随時実施し、活動の方向性を確認しました。

そのほか、不適切な事務処理があり、再発防止の徹底を求めるため、委員会として業務内容を再検証し、ジョブノートの在り方や適切な事務処理についてなど提言していきます。

議会運営委員会

後期の委員会活動計画は、前期委員会の運営方針を継続し、実施項目を次のとおりとしました。議長の諮問事項である議員の定数や報酬、正・副議長任期などを協議し、定数は本年12月までに結論を出す予定です。また議会からの政策提案の充実に向け、岐阜県高山市および長野県松本市への行政視察を行います。そのほか、議会フォーラムの開催や通年議会、長期入院等による議員報酬の減額規定などに取り組みます。また議会基本条例にのっとりた委員会活動の成果がわかる「チェックシート」の検証と新たに議員活動の「チェックシート」の作成や、それらの外部評価についての検討に取り組む活動計画としました。

観光・経済委員会

当委員会は、観光経済部、農業委員会および都市整備部が所管する各施策などについて、調査・研究を行います。

平成25・26年度については、

- ・地域経済活性化「登別市中小企業地域経済振興基本条例」（第2回定例会で議員提案により制定された）への取り組み
- ・各懸案事項への取り組み（水道事業、温泉給湯事業、登別地方高等職業訓練校について、カルルス温泉スキー場について）
- ・下水道事業の地方公営企業法適用事業化

の以上3項目について、主に調査・研究していくこととしました。

なお、各団体等との聞き取り調査や意見交換などについても、適宜実施していきます。

生活・福祉委員会

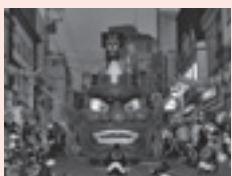
当委員会で調査研究する項目は

- ・多重債務などの消費者行政について
- ・子育て支援、児童虐待防止への取り組み
- ・障害者自立支援法に係る事業について
- ・感染症予防対策について
- ・「登別市めくもり」ある福祉基本条例制定後の取り組み状況について
- ・登別市次世代育成支援推進協議会から答申された保育所の民営化について
- ・など9項目を調査するため、市内外の施設・事業所の現地調査を行います。

登別市男女共同参画基本計画の取り組みなどについて団体との意見交換会を行い、担当部署から説明を求め実施いたします。

議員会の活動について

ことしの地獄まつりは、第50回登別地獄まつり半世紀記念事業として開催され、議員会では8月25日(日)鬼踊り大群舞への参加を予定しております。当日は登別・白石姉妹都市30周年記念式典および祝賀会も予定されており、また白石・海老名両市の議員の皆さんも鬼踊りへ参加予定ですが、記念事業参加の市民や観光客の皆さんとともに大いに祭りを盛り上げたいと思っております。



また北海道市議会議長会道南支部議員研修会と北海道自治体学会フォーラムが当市で開催されることもあり、議員会として参加し、より一層議員としての資質向上に努めたいと思っております。

議会だより編集委員会

当委員会は7名全員が1期目の議員で構成されていますが、後期も皆で助け合いながらフレッシュな感覚で、議会の情報公開活動に取り組んでいきます。

活動は議会だより「でいすかす」の編集から発行が主になりますが、議会ホームページの企画も所管項目ですので、「開かれた議会」として、議会の傍聴に來られない方にも議会活動が分かってもらえるような内容と紙面作りに努力してまいります。

今年は各常任委員会の所管事務調査と情報提供資料の公開を実施して、議会活動の広報・公開の充実を図っていきます。